

<第2刷での訂正箇所>

	【誤】	【正】
第1巻 78頁 表1-6-2 107頁 図1-12-1	α_1 のアドレナリンの欄 (空欄) 血小板 14~34万個/mm ³	大量では作用する (上下段に追加) 血小板15~50万個/mm ³
第3巻 200頁 右段上から3行目	凝血塊 (ルビ:ぎょうかいけつ)	凝血塊 (ルビ:ぎょうけつかい)

<第3刷での訂正箇所>

	【誤】	【正】
第1巻 68頁 図1-6-1 205頁 右段下から8行目	肺100% 精神障害者保 険 福祉手帳	肺10% 精神障害者保 健 福祉手帳
第2巻 43頁 右段下から5行目	基地 指 令	基地 司 令
第4巻 87頁 左段下から1行目 180頁 左段下から17行目	水 溶 性 緊張病 勢 混迷	水 様 性 緊張病 性 混迷
第5巻 148頁 右段下から2行目	(http://j-poison-ic.or.jp)	(http:// www. j-poison-ic.or.jp)

<第4刷での訂正箇所>

	【誤】	【正】
第1巻 34頁 右段下から9行目 38頁 左段下から11行目 47頁 図1-3-18 b:脳底部 47頁 左段下から4行目 54頁 左段下から7行目 66頁 右段下から3行目 71頁 図1-6-5 77頁 左段下から15行目 80頁 左段上から2行目 81頁 右段上から12行目 84頁 左段下から4行目 96頁 図1-9-7 107頁 図1-12-1 120頁 左段上から18行目 172頁 表2-10-1の3.2) 182頁 右段下から2行目 197頁 図3-1-12 214頁 右段下から13,14行目	70~102m/秒 ③ロンベルグ試験(両足を揃え,爪先を閉じ,閉眼させる)が陽性(ふらつきが著明になる)となる(小脳虫部症候群) 「前交通動脈」からの2本の引き出し線 45~50mL/100g脳/分 …有 生 細胞に… …第4 延 髄腹外側にある… 右室 …中 枢 血管運動中枢に… 脂肪は胆汁により消化され脂質となり, 唾液中の舌リパーゼとプチアリン(唾液アミラーゼ)は糖質を分解する。 小腸では腸腺から分泌された…胆汁が消化の働きをしている。 子宮腔 「血餅」の範囲を示す矢印 皮膚組織は… ③13歳以上 ≥ 65 mmHg *BMI=体重… 周産期死亡 数 %	70~120m/秒 ③ロンベルグ試験陽性(両足を揃え,爪先を閉じ,閉眼させるとふらつきが著明になる)となる(小脳虫部症候群) 2本のうち下の引き出し線を 削除 3.5mL/100g脳/分 …有 毛 細胞に… … 延 髄腹外側にある… 右心室 …血 管 運動中枢に… 脂肪は胆汁により消化され, 唾液中には舌リパーゼとデンブンを分解するプチアリン(唾液アミラーゼ)が分泌される。 小腸では,腸液,膵液,胆汁が消化の働きをしている。 子宮腔 矢印を1mm上に伸ばす(「フィブリノゲン」まで) 皮下組織は… ③13歳以上 ≥ 90 mmHg *わが国では,BMI=体重… 周産期死亡 率 ‰

<p>第2巻</p> <p>9頁 左段上から3行目</p> <p>9頁 右段上から18行目</p> <p>9頁 右段下から3行目</p> <p>26頁 表4-4</p> <p>28頁 表4-5</p> <p>43頁 右段下から6, 4行目</p> <p>52頁 右段下から12行目</p> <p>54頁 図8-3</p> <p>60頁 右段下から15行目</p> <p>83頁 表10-6</p> <p>85頁 右段下から2～3行目</p> <p>87頁 左段下から18行目</p> <p>96頁 左段下から7行目</p> <p>125頁 左段上から10行目</p> <p>127頁 図12-21 タイトル</p> <p>127頁 図12-21</p> <p>134頁 左段下から13行目</p> <p>144頁 写真12-58</p>	<p>救急医療基本問題…</p> <p>従来の救急告知制度…</p> <p>(救急医療基本問題…</p> <p>…講習の過程で…</p> <p>2. 前条第2項 (表Ⅲ-1-8) …</p> <p>防衛庁長官</p> <p>強直性痙攣では痙攣中の外傷…</p> <p>脳幹閉塞</p> <p>滑車神経：…複視や下外方視障害が…</p> <p>著明な端鳴</p> <p>(ただし上記包括的……を除く)</p> <p>…ベル音やダイヤフラム…</p> <p>パーマン型…</p> <p>P波の終わりから</p> <p>標準単極肢胸部誘導</p> <p>…助間…</p> <p>酸素投与は人工呼吸に…</p> <p>写真中の①②の表示</p>	<p>救急医療体制基本問題…</p> <p>従来の救急告示制度…</p> <p>(救急医療体制基本問題…</p> <p>…講習の課程で…</p> <p>2. 前条第2項 (表4-4) …</p> <p>防衛大臣</p> <p>痙攣中の外傷… (‘強直性痙攣では’ 削除)</p> <p>脳幹梗塞</p> <p>滑車神経：…複視や外方視障害が… (‘下’ 削除)</p> <p>著明な喘鳴</p> <p>削除</p> <p>…ベル面やダイヤフラム…</p> <p>パーマン型…</p> <p>P波のはじまりから</p> <p>標準単極胸部誘導 (肢を削除)</p> <p>…肋間…</p> <p>酸素投与や人工呼吸に…</p> <p>写真中の①→②, ②→①</p>
<p>第3巻</p> <p>7頁 左段下から1行目</p> <p>29頁 右段下から11行目</p> <p>54頁 左段下から16行目</p> <p>139頁 表14-1下から1行目</p> <p>146頁 右段下から4行目</p> <p>178頁 右段下から16行目</p> <p>178頁 右段下から7行目</p> <p>180頁 左段上から2行目</p> <p>219頁 右段上から1行目</p>	<p>(PaO₂)</p> <p>眼球結膜</p> <p>かりつけ</p> <p>…～3,000/μLまで</p> <p>…Ⅲ, IV, Vは…</p> <p>(図19-1)</p> <p>心室細動</p> <p>ショートラン型は心室細動が…</p> <p>緩除に</p>	<p>(PaO₂)</p> <p>眼瞼結膜</p> <p>かかりつけ</p> <p>…～30,000/μLまで</p> <p>…Ⅲ, IV, VIは…</p> <p>(図20-1)</p> <p>心室頻拍</p> <p>ショートラン型は心室性期外収縮が…</p> <p>緩徐に</p>
<p>第4巻</p> <p>★25頁 右段上から3行目</p> <p>28頁 右段上から13行目</p> <p>30頁 右段上から5行目</p> <p>40頁 右段下から6行目</p> <p>41頁 図4-4 a の説明</p> <p>52頁 左段上から19行目</p> <p>52頁 右段上から9行目</p> <p>55頁 左段下から6, 7行目</p> <p>62頁 左段上から11行目</p> <p>65頁 左段下から9行目</p> <p>66頁 表6-1 最下行</p> <p>115頁 右段上から9行目</p> <p>117頁 右段上から10行目</p> <p>120頁 右段上から15行目</p> <p>157頁 右段上から19行目</p> <p>174頁 左段上から11行目</p>	<p>連続性ラ音</p> <p>吸気性・呼気性の喘鳴</p> <p>…無期肺合併時は…</p> <p>…左心室側壁に…</p> <p>a：急性前壁心筋梗塞…</p> <p>黄疸では</p> <p>眼瞼結膜黄染</p> <p>…上大静脈系…</p> <p>…①悪寒戦慄を伴う高熱, ②右上腹部痛, ③黄疸がみられ, これをシャルコーの三徴という。</p> <p>尿路の閉塞</p> <p>尿道の閉塞</p> <p>…発生件数は2位, 傷病者数は…</p> <p>水溶性下痢</p> <p>…といった軽微な…</p> <p>誤嚥</p> <p>触角</p>	<p>*断続性ラ音(1/30には‘断続性ラ音’と掲載いたしましたが, ‘連続性ラ音’が正しい記述です)</p> <p>吸気性の喘鳴 (‘・呼気性’を削除)</p> <p>…無気肺合併時は…</p> <p>…左心室側壁(もしくは広範囲前壁)に…</p> <p>a：急性側壁(もしくは広範囲前壁)心筋梗塞…</p> <p>削除</p> <p>眼球結膜黄染</p> <p>…下大静脈系…</p> <p>…悪寒戦慄を伴う高熱と右上腹部痛である。これに黄疸が伴うとシャルコーの三徴という。</p> <p>尿管の閉塞</p> <p>尿路の閉塞</p> <p>…発生件数は1位, 傷病者数も…</p> <p>水様性下痢</p> <p>…といった軽微な…</p> <p>誤飲</p> <p>触覚</p>

第5巻 50頁 左段下から1行目 109頁 図1-15-1d : の説明 172頁 右段下から9行目 183頁 右段下から1行目	睫毛部 後方脱臼 (棘下骨折) …心室細動/無脈性心室頻拍 (VF/無脈性VT) に対する除細動も通常どおりに行い、継続するVF/無脈性VTに対してもプロトコールに準じて行う。 深在性熱傷	眉毛部 後方脱臼 (棘下脱臼) (改行する) 心室細動/無脈性心室頻拍 (VF/無脈性VT) に対する初回の除細動は通常どおりに行い、継続するVF/無脈性VTに対しては偶発性低体温症のプロトコールに応じて行う。なお重度の低体温状態でのアドレナリンは効果を期待できないので投与しない。 深在性凍傷
--	---	---

<第6刷での訂正箇所>

	【誤】	【正】
第1巻 14頁 右段下から2行目 196頁 左段下から3行目	2対 捻挫, 骨折の順であった。	1対 骨折, 捻挫の順であった。
第2巻 51頁 図8-2-b 97頁 右段上から2行目	「回外」 第一選択とする。	「回内」 第一選択とする (写真12-17 a ~ c)。 * (写真12-17 a ~ c) を移動。
第3巻 105頁 表8-7 148頁 図15-8 図の説明	「緑内障の緊急度」なし 右滑車神経麻痺による代償的頭位	「緑内障の緊急度」高い 左滑車神経麻痺による代償的頭位

<第7刷での訂正予定箇所>

	【誤】	【正】
第1巻 22頁 左段上から4行目	2対	1対